

# 2024年度 Aセメスター「物質科学概論」講義日程

テーマ: 物質科学:教科書から研究へ

## 趣 旨:

物質科学の研究を紹介し、物質に対してどのような疑問があるのか、どのように研究が進められてゆくのか、物質科学研究の様々なアプローチを紹介する。教科書を使った学習とは異なり、実際の研究では対象となるものが多岐にわたり、進め方も多種多様であるが、教科書に記載されている内容が研究とどのように繋がっているか学んで欲しい。

時 限: 月曜5限 17:05—18:35

場 所: 16-119/129

第一回目はオンライン(URLはUTASの授業計画およびUTOLに掲載)、それ以外は全て対面での実施)

## 日 程

	月 日	講 師	タ イ ト ル
1	10/7(月)オンライン	堀田 知佐	線形代数からつながる量子多体物性
2	10/21(月)対面	小林 広和	循環型社会を実現するための触媒化学
3	10/28(月)対面	野口 篤史	量子情報技術と物質科学
4	11/4(月)対面	奥野 将成	非線形分光法による物質科学の基礎研究
5	11/11(月)対面	堀内 新之介	孤立空間の化学:分子を閉じ込めることで発現する新奇な性質
6	11/13(水)対面	加藤 雄介	超伝導を手掛かりに読み解くカイラル磁性
7	11/18(月)対面	寺尾 潤	分子建築学に基づく機能材料創成
8	12/2(月)対面	橘高 俊一郎	強相関電子系におけるエキゾチック超伝導
9	12/9(月)対面	豊田 太郎	生命起源への構成論的アプローチ
10	12/16(月)対面	松田 恭幸	自然はどこまで対称か?
11	12/23(月)対面	桐谷 乃輔	近年注目を集める2次元状の半導体と化学的な状態変換
12	1/6(月)対面	鳥井 寿夫	冷却原子型量子コンピューター
13	1/20(月)	予備日	

## 成績評価の方法:

出席状況およびレポートによる。

各講師が出題する課題のうち3つ以上を選択してレポートを提出する。提出期限は各教員が定める。

提出レポート数が3に満たない場合は単位認定の対象とならない。

提出レポート数が4以上の場合、提出回数に応じて加点する。